

サンヨーフォーム工業株式会社

精密加工

設備投資

緩衝材の加工精度向上による生産体制の強化

食品保護材(シート緩衝材)や自動車部品輸送用緩衝材(ブロック緩衝材)など緩衝材の品種及び用途に合わせた仕様の断裁時での均一感にこれまで課題があった。その解消策として半自動断裁機を導入することにより、加工精度及び品質向上を図り、生産体制を強化した。



Q 取組の背景 Background of efforts

弊社は食品の傷防止や製品の保護材、断熱材などに使用される緩衝材に特化しており、近年、県外への販路を拡大。しかし、ユーザーや使用用途が多岐に渡るため、対応できないケースが発生するようになっていた。また、パーティカル断裁機の配置場所で、食品関係に使用されるシート緩衝材と工業関係に使用されるブロック緩衝材を同じ現場内で断裁加工しており、衛生面を懸念し、緩衝材により作業所を分離する必要性があった。

目 事業の実施内容 Implementation content

シート緩衝材における小さいサイズのカットは、2名体制できめ細やかな作業を行い、作業者の熟練度や技量によって精度にバラツキが生じていた。またブロック緩衝材においても難加工材などは、高いカット精度が要求されるが、寸法調整が手動のため、作業者の技量による影響も多分に受け、歪みなどの発生からクレームになることもあった。今回、「シート緩衝材用の半自動パーティカル断裁機」と「ブロック緩衝材用の半自動パーティカル機」を導入する

ことにより、精度向上かつ品質の安定化を実現することとした。

目 事業の成果 Achievement

【シート緩衝材用の半自動パーティカル断裁機】

手動による寸法調整が不要になることで作業スピードが向上し、品質の安定化及びコスト削減を実現。またレーザーマーカによるナイフ走行ラインを可視化することで、安全対策が図れた。

【ブロック緩衝材用の半自動パーティカル断裁機】

剛性及びパワーの強化により、難加工材をストレスなく加工ができる。作業者の安全対策にもなる上、斜めカット加工も容易になり、従来では加工が難しかった材料へのチャレンジも可能になった。

【加工場所】

加工場所を分離することで、衛生面はもちろん、材料の移動や管理が容易になり作業がスムーズに。また、それぞれの機器を専用機とすることで、調整や清掃の時間を短縮することができ、管理者の負担軽減となった。



▲正確に断裁された製品

▲現場で取り扱っている資材

この導入に伴い、生産プロセスの革新を行い、幅広いユーザーニーズに対応できる生産体制の整備を行うことができた。ユーザーニーズにも柔軟な加工体制を構築することで、今後の拡販も期待できる。

目 今後の展望 Future prospects

緩衝材に関するこれまでの実績や豊富な知識に加え、生産時における納期短縮の問題、小ロット発注の問題、特殊品オーダーなど受注する上での問題点が大幅に改善された。クライアントからの信頼もさらに厚くなり、競合他社に対してより優位性を発揮できている。また、加工精度の向上及び品質の安定化を図ることができ、作業スピードも約20%ほど速くなった。手動・目視にある調整作業も不要になったことで人件費削減にもつながり、利益率の向上にも直結する。今後は、全国を視野に入れて、販路拡大とともに人材育成にも力を注いでいき、さらなる事業拡大を目指している。

現場の声



従来の機器では正確性に欠ける部分があり、時として素材を無駄にしまったり、クレームにつながる場合もありました。しかし、最新機器が導入されたことにより、正確かつ安定した生産ができる喜びを体感できた。ストレスの軽減にもなり作業効率もアップし、現場での作業がスムーズになりました。

COMPANY PROFILE



サンヨーフォーム工業株式会社

所在地 〒761-0445
香川県高松市西植田町129-7

TEL 087-849-1194

設立 1987年6月

代表者 渡辺 邦治

業種 プラスチック製品製造業

従業員数 14名

URL <http://www.syfk.biz-web.jp>

事業内容

緩衝材の設計、加工及び包装資材、物流資材の販売

主要設備

パーティカル断裁機、フルート断裁機、ローラー式プレス機、油圧プレス機、スライサー、サンプルカッター、リベーター、スリッター



代表取締役 渡辺 邦治

「緩衝材」に特化し、約30年。信頼と実績と未来、それが我が社の強み。

弊社は「常に探求心を持ち、前向きに行動し、新しい価値を創造する」という企業理念のもと、1987年の創業以来、一貫して緩衝材の設計・加工を行っております。緩衝材は商品や食材をお客さまにお届けするまで「大切に守る」役割を担う、影の立役者だと考えております。設備増強や原反在庫を保有することで、多種多様なご注文にも対応できると確信し、従業員が力を合わせ、ニーズに対応できるよう、正確かつ丁寧に日々の業務に取り組んでおります。また環境と経済が両立した循環型社会を形成していくためのキーワードである「Reduce(減らす)」、「Reuse(再生する)」、「Recycle(再生利用する)」(3R)を常に意識し、循環型社会の構築にも貢献していく所存です。